

都慢協レポート

[発行所]
一般社団法人
東京都慢性期医療協会
〒193-0942 東京都八王子市
桐田町583-15 永生病院内
Tel : 042 (666) 3312
Fax : 042 (673) 6552
[発行人] 進藤 晃

看護に関わる重要なテーマを共に学ぶ場として 研修会を実施し、慢性期医療の質の向上に貢献

寄稿:看護部会 部会長 城山病院 山口和子



慢性期医療を担う医療機関で働く看護・介護職を中心にタイムリーな情報発信、研修会を毎年開催して参りましたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で断念せざるを得ませんでした。2021年度については、WEBを利用して、働く仲間に必要な情報を届けたいと考えています。

看護部会では、患者の一番身近な存在であり、組織構成人数の多い職種としての影響を考え、職員一人一人に確かな知識と技術を届け、質の向上につなげたいとの思いで研修会を企画運営して参りました。その年ごとにニーズを調査し、看護・介護にとどまらず他職種と情報共有しチームとして取り組める内容を吟味してお届けしてきました。

2017年度は、日本コンチネンス協会会長 西村かおる先生をお招きし「現場に活かす排泄ケア」のテーマで、排泄障害の原因と種類の理解、チームでの診断、治療、機能訓練への取り組みについて、具体的な事例紹介をいただきました。

2018年度は、日本歯科大学教授 菊谷武先生をお招きし、「口から食べる”を”支える」のテーマで、咀嚼と嚥下の違いを理解し、食事風景の正しい観察の仕方、食形態の調整・食事姿勢や環境の整備がいかに重要かを学びました。楽しみの一つでもある“食”を継続するための私たちの役割を再確認した研修会でした。

2019年度は、都立広尾病院減災対策支援室 中島康先生を

お招きし「病院における減災対策とは～事前の備え・被災時の業務を考える～」をテーマに、看護・介護職にとどまらず、事務職・施設課・総務課・栄養科・リハセラピスト等多職種に受講いただくことができました。近年自然災害も多く、いざというときに必要な医療提供ができるように事前の備えとしての対策と、実際被災時の業務・役割・業務従事と休息の考え方等、考えるよい機会となりました。小訓練の繰り返し、日常的チェックシートの活用、大規模訓練だけでなく、日ごろから防災減災意識を高める取り組みの重要性を痛感した研修でした。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症対策に現場が翻弄され、学びの場を企画することができず、会員病院の看護・介護職の皆様のご期待にそえず、申し訳ございませんでした。

2021年度は、新しい形を模索し安全安心な研修会を検討いたします。日本の医療は慢性期医療の質にかかっているといっても過言ではないと思っています。看護部会としてお役に立てるよう取り組んで参ります。

過去の看護部会研修会の様子

